企業名（　明治安田生命保険相互会社　甲府支社　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・人権方針を制定するとともに、社内研修を実施 ・人権侵害行為に関する相談・通報窓口として「人権110番」を設置するとともに、「障がい者相談窓口」「LGBT 相談窓口」を設置し、さまざまな相談に迅速かつ的確に対応					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・人権方針を制定するとともに、社内研修を実施 ・人権侵害行為に関する相談・通報窓口として「人権110番」を設置するとともに、「障がい者相談窓口」「LGBT 相談窓口」を設置し、さまざまな相談に迅速かつ的確に対応					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・テレワークや、地方在住のまま本社の業務を行なうリモート型勤務の導入、育児・介護・病気治療と仕事の両立支援等、柔軟な働き方を推進								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・多様な人材が意欲を高め、個々の能力を最大限に発揮できる環境や仕組みづくり、多様性を受容し、働く仲間が相互に成長できる風土醸成に取組み ・職場における人権侵害行為に対する相談・通報窓口として「人権110番」を設置し、相談・通報等に対応				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・コロナ禍でも健康を維持・増進し、活き活きと仕事に取り組めるよう、感染防止対策を徹底し、取組みを推進			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・従業員のメンタルヘルスの健康維持を推進するため、教材・ツールを利用した社内教育・啓発を継続的に実施し、社内外に相談窓口を設け相談に対応			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・多様な人材が意欲を高め、個々の能力を最大限に発揮できる環境や仕組みづくり、多様性を受容し、働く仲間が相互に成長できる風土醸成に取組み ・「女性の活躍推進」「シニアの活躍推進」「障がい者の活躍支援」に重点を置き、さまざまな環境や仕組みづくりを実施するとともに、LGBTQに関する取組みを実施					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・従業員が活力をもって業務に取り組むうえで健康が重要な基盤であるとの認識のもと、「みんなの健活プロジェクト」の一環として従業員の健康増進を推進 ・健康診断を起点とした健康づくりに取組み。従業員向けアプリを活用したウォーキングの促進や、社外講師による運動教室の開催等を実施			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	・持続的な人財輩出に向け、社内の人財育成に関するすべての事項を集約した企業内大学「MYユニバーシティ」を創設し、従業員に知識・スキル向上の機会を提供				○				○	○								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	・同一労働、同一賃金の考え方に沿った対応を実施。営業職員においては、定年後も定年前とほぼ同様の条件で75歳まで働くことができる制度を整備								○		○							
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・気候変動（オゾン層の破壊）に影響を及ぼすフロン類の大気中放出を抑制するため、所有設備（業務用空調機、ターボ式冷凍機など）の定期点検や設備補改修などにより対策を実施。また、使用する冷媒種は、温室効果の逓減やオゾン層の破壊抑制につながる、環境に優しい冷媒への切換えを漸次実施											○	○		○				
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・2050年度CO2排出量ネットゼロおよび2031年度中間目標達成に向け、電力等、自社のエネルギー使用量の削減に取組み ・社有車のハイブリッド車への切り替えを実施							○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・毎年度、CO_2排出量を算定し第三者機関からの保証を受けたうえで公表 ・事業者・機関投資家双方の立場で、自社・投融資先のCO2排出量削減にかかる2050年度ネットゼロ目標および2030年度中間目標を設定・公表し、空調設備の高効率化やペーパーレス化等各種取組みを推進							○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・気候変動（オゾン層の破壊）に影響を及ぼすフロン類の大気中放出を抑制するため、所有設備（業務用空調機、ターボ式冷凍機など）の定期点検や設備補改修などにより対策を実施。また、使用する冷媒種は、温室効果の逓減やオゾン層の破壊抑制につながる、環境に優しい冷媒への切換えを漸次実施			○			○					○	○					

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・紙資料量の多い業種として、継続的にペーパーレスを推進 ・脱プラスチックの取組みとして、契約時にお客さまにお渡しするファイルのLIMEX素材への切り替えや紙製クリアファイルの導入を推進						○									○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・水使用量を開示のうえ、各組織にて節水に取組む						○											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○			○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・TCFD提言等の国際基準に沿って、ホームページや統合報告書で環境情報を開示												○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・保有不動産における照明のLED化や空調設備の高効率化を推進するとともに、太陽光パネルを設置 ・本社ビル等への再生可能エネルギーの導入や、営業拠点を対象としたZEB Ready水準を満たす建築物への切り替えを実施							○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・使用する事務用品については、エコマーク商品、グリーン購入ネットワーク（GPN）掲載商品、グリーン購入法適合商品、FSC認証商品などの環境配慮型商品を優先的に購入できるシステムを導入												○	○	○	○		
21		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・本社がある明治安田生命ビルの各階に専用リサイクルボックスを設置するなど、廃棄物の分別回収やリサイクルに積極的に取組み						○					○	○	○	○	○		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・グループコンプライアンス基本方針等に、不公正な取引等の防止について明記するとともに、贈収賄防止規程を整備 ・コンプライアンスに関する社内研修を実施																○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・グループコンプライアンス基本方針等に、不公正な取引等の防止について明記するとともに、贈収賄防止規程を整備 ・コンプライアンスに関する社内研修を実施																○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・特許管理に関する規則を制定し、他者の特許権への侵害を未然防止するための管理体制を定めるとともに、特許出願手続きについても明記								○	○								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・個人情報の保護に関する方針を制定・公表 ・「情報管理規程」を定め、すべての役職員がこれらを遵守 ・お客さまに関する情報の保護・管理強化に向け、情報管理を専門に担当する部署を設置																○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																	○	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会	・環境方針において、事業活動のあらゆる面において地球環境との調和を図ることを定めており、取引先とも環境負荷軽減にかかる問題意識を共有 ・また、投融資先との対話のテーマには、環境に加え、生物多様性、人権も包含					○			○		○		○	○	○	○	○	○
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・お客さまからの直接のお申し出に加え、お客さま満足度調査、全国の支社等で開催するお客さま懇談会等を通じて、お客さまのご意見やご要望を伺い、商品・サービス等の改善に反映			○									○					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・お客さまからの直接のお申し出に加え、お客さま満足度調査、全国の支社等で開催するお客さま懇談会等を通じて、お客さまのご意見やご要望を伺い、商品・サービス等の改善に反映									○								
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・使用する事務用品については、エコマーク商品、グリーン購入ネットワーク（GPN）掲載商品、グリーン購入法適合商品、FSC認証商品などの環境配慮型商品を優先的に購入できるシステムを導入 ・脱プラスチックの取組みとしては、契約時にお客さまにお渡しするファイルのLIMEX素材への切り替えや、紙製クリアファイルの導入等を推進						○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・「人生100年時代」を迎え、健康寿命の延伸に対するニーズが高まっているなか、「みんなの健活プロジェクト」を通じて、「お客さま」「地域社会」「働く仲間（当社従業員）」の健康増進を応援する商品や、病気の予防・早期発見のためのプロセスを支援するサービス等を開発	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・従来以上に社会的な「つながり」の希薄化が懸念されること等を背景に、当社従業員が「ひと」や「職場」「まち」をつなぐ担い手となり、地域にあたたかい「つながり」をお届けする「地元の元気プロジェクト」を展開				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・地方自治体や公民館・道の駅等の公的セクターおよびスポーツ団体との健康増進等にかかる協働イベントを多数開催するほか、祭事における協賛金の寄贈や当日の運営ボランティアとしての支援、自治体と協働した営業職員による行政サービス案内活動等を実施 ・また、従業員がゆかりのある地域を選んで行なう募金に会社寄付を上乗せする「私の地元応援募金」を毎年実施し、地域の課題解決を継続的に支援				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済									○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・グループコンプライアンス基本方針および関連の各種方針・規程を制定 ・合わせて、日々の業務において遵守すべき法令や社内ルール等を「コンプライアンス・マニュアル（手順・解説書）」に掲載し、全役職員に周知・徹底																○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・明治安田フィロソフィー（当社の基本的な理念を示すものとして、経営理念、企業ビジョン、明治安田バリューから構成）に沿った行動を全従業員で共有 ・また、10年計画において、「10年後(2030年)にめざす姿」を「『ひとに健康を、まちに元気を。』最も身近なリーディング生保へ」と定めており、持続可能な社会づくりへの貢献にかかる取組みと合わせて、社内への浸透を図っている								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・グループコンプライアンス基本方針および関連の各種方針・規程を制定 ・合わせて、日々の業務において遵守すべき法令や社内ルール等を「コンプライアンス・マニュアル（手順・解説書）」に掲載し、全役職員に周知・徹底																○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・専門部署として、サステイナビリティ経営推進担当部を設置 ・経営会議の諮問機関として「サステイナビリティ経営検討委員会」を設置し、サステイナビリティ経営にかかる方針の検討や取組状況のモニタリングを行ない、経営会議や取締役会に報告																○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・リスク事象の影響度と蓋然性に基づき、重要度の高いリスク事象を「重要リスク」として抽出し、経営として事業年度1年間で最も注視すべきと認識したリスク事象を「トップリスク」として設定 ・設定した「トップリスク」への対応策については、モニタリングを行なう等、必要な対策をあらかじめ講じてリスクをコントロール																○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会	・グループサステイナビリティ方針を制定 ・経営会議の諮問機関として「サステイナビリティ経営検討委員会」を設置し、サステイナビリティ経営にかかる方針の検討や取組状況のモニタリングを行ない、経営会議や取締役会に報告 ・サステイナビリティレポートを発行し、当社の取組みを網羅的に開示																○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・お客さまからの直接のお申し出に加え、お客さま満足度調査、全国の支社等で開催するお客さま懇談会等を通じて、お客さまのご意見やご要望を伺い、業務改善に反映 ・投融資先企業とも、機関投資家としてエンゲージメント（対話）等を実施																○	○
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・危機管理規程や事業継続マネジメント規程を制定 ・社会的インフラである生命保険の役割をふまえ、危機発生時においても、お客さまサービスのご提供等の重要業務を継続するための事業継続計画(BCP)を策定するとともに、平常時から防災・減災対策の高度化に取組み									○		○		○			○	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済	・CEOサクセッションプランにおいては、経営理念や経営戦略等を踏まえ、十分な時間をかけて複数の候補者を評価し、後継者を選任								○	○								○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。 また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（2021年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むSDGsに関する内容（水素・燃料電池、4パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17